

青海川線立体交差事業 (新潟県青海町)

■表彰対象者：新潟県土木部都市計画課 新潟県糸魚川土木事務所

表彰の理由

国道8号、JR北陸本線及び2級河川青海川にはさまれた狭隘な土地条件にある。このため関係機関の理解を得て河川敷内に橋脚を設け、ループ橋によりJRとの立体化を図ることにより、地元の多年の念願であった「開かずの踏切」の解消をするなど悪条件を克服して事業を実施したことが評価された。



日本海上空よりループ橋を望む(手前の道路は国道8号、上側の路線はJR北陸本線、川は青海川)



ループ橋を走行中の車より望む



富山県側より望む

事業のあらまし

本路線は、海岸線を平行に走る国道8号と、青海町の経済基盤である工業地域及び住民の生活基盤である市街地を結ぶ幹線道路である。JR北陸本線第12北陸街道踏切は、朝夕の交通混雑時には、「開かずの踏切」として有名になっており、交通渋滞の解消と踏切事故防止のため、早期に整備を行う必要があった。このため、第2次踏切事故防止総合対策計画に基づき、JR北陸本線と立体交差化を行ったものである。

事業の効果

本路線は、国道8号とJR北陸本線が、約100mの距離で平行に走り、青海川が近接している狭隘な地理的条件にあるが、県下初のループ式交差橋とすることによって立体交差化が可能となり、長年の懸案であった、交通渋滞の解消と踏切事故の防止を行うことができた。

- 延長：460m
- 幅員：6.0 (7.0) m
- 全体事業費：1,575百万円
- うち街路事業費：1,575百万円
- 事業期間：昭和55年度～63年度

大手通りモール整備事業 (富山市)

■表彰対象者：富山市都市開発部都市計画課

表彰の理由

快適な歩行者空間を創出するため、市民プラザと一体となった街路整備を行い、情報拠点、レクリエーション拠点としての機能を持たせるなど、従来のイメージを一新した都市の顔づくりを行ったことなどが評価された。



変化に富んだ水を演出



曲率の大きな車道と、街路樹が周囲の建物と調和



プラザ前広場で行われたイベント

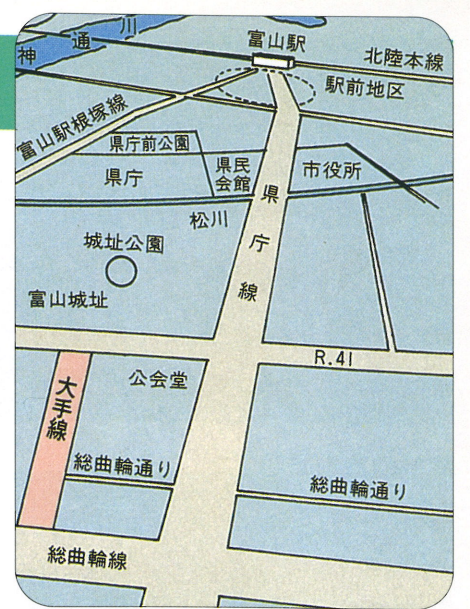


照明灯は歩行者にやさしく語りかける脇役たち

事業のあらまし

大手通りは、都心に豊かな緑を提供し、市民のシンボルである富山城の大手門と本市の中心商店街である総曲輪通りに通じる歴史性を兼ね備えたみちである。

このことから、総曲輪西地区整備事業による、情報・文化・レクリエーションの拠点としての「市民プラザ」の建設に併せ、都心の顔に相応しい格調と賑わい、市民が集い、憩い、交歓する場として、また、快適な回遊空間を創出するために整備したものである。



市民プラザ

事業の効果

市民プラザ前にイベント広場(道広場)を設けたことにより、市民の手作りによるバザーの開催や朝市、大道芸等のパフォーマンスが行われ、車を気にしない公共空間として、四季を通じて市民が安心して集える場所となっている。また、中心商店街とを連続させたことによる人の回遊性が再生され、新たな賑わいを生み出している。

- 延長：300m
- 幅員：27m
- 全体事業費：660百万円
- うち街路事業費：160百万円
- 事業期間：昭和62年度～63年度